（別添資料１）

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス レアリサルあっぷ	**支援プログラム**	作成日	2024 年	12 月	12 日

法人理念	・活動を通じて、障がい児・者が自分らしい生活を送るために楽しみを見つけ、楽しみを通して多くの人とつながり喜びを分かち合いながら成長できる社会づくりに貢献します。			
支援方針	・構造化や視覚的手立てを活用した利用児が理解しやすく、分かりやすい支援。 ・肯定的かつ具体的な児童が分かりやすい支援。			
営業時間	9 時 00 分から 18 時 00 分まで		送迎実施の有無	(あり) なし
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・着脱、排泄、衛生面等の利用児童の目標に応じたアセスメントの実施。 ・利用児の目標に応じ、生活スキル獲得に向け、視覚的手立てを取り入れた支援。		
	運動・感覚	・自発性と積極性の向上を目的とした「楽しい」と思える運動遊びの提供。 ・協調運動昨日の向上を目的とした感覚統合プログラムや、運動機能・生活スキルの〇〇を目的とする身体操作・物体操作の複合プログラムの提供。 ・利用児一人ひとりの発達状況や支援目標に合わせた運動遊びの考案と提供。		
	認知・行動	・目標達成に必要な利用児の認知(受容コミュニケーション、表出コミュニケーション、概念等)に関するアセスメント。 ・ABA(応用行動分析)を元にした不適応行動へのアプローチ。		
	言語 コミュニケーション	・利用児の発達状況の段階や特性に合わせた、基礎的能力向上を目的とした支援(プロンプトを交えた指導や視覚的手立ての活用等)。 ・利用児に合わせたコミュニケーションツールの使用(ドロップタップアプリ、PECS等) ・本人からの言語表出を傾聴し、場面に応じた望ましい発言や行動を伝える指導。		
	人間関係 社会性	・社会性向上を目的とするグループワークの実施(ジェンガ等のゲームを活用した「順番」「待つ」等の概念の学習、利用児同士のディスカッション等)。 ・ABA、SST（ソーシャルスキルトレーニング）プログラムを用いた支援プログラムの提供。		
家族支援	・6か月ごとの面談の他に、必要に応じて保護者との面談を設定。 ・保護者交流会の実施。 ・保護者同伴利用の実施(児童発達支援)(祝日)。		移行支援	・学校や園への訪問を行い、教諭や保育者との情報共有の実施。
地域支援・地域連携	・相談支援事業所や園、学校を交えた担当者会議への出席。 ・利用児の状況に応じ、学校や園での本人の様子の見学と情報共有の実施。		職員の質の向上	・専門的知識やスキルの獲得を目的とした外部研修への職員派遣 ・業務効率化を目的とした職員ミーティングの実施 ・利用児の情報共有と支援方法の同一化を目的とした内部研修の実施
主な行事等	・法人主催のサッカー大会　にっこにこフェスタへの参加。 ・長期休みのお買い物体験や見学体験、地域の体育館での運動遊び等。 ・祝日の調理体験や果物狩り等の実施。			